

弊社取扱いハンドヘルドスキャナーXGRIDS製品との連携も期待！

福井コンピュータ株式会社、「TREND-POINT」最新版 2025年秋リリースを発表

業界初^{※1}の3D表示技術を搭載した3D点群処理システム 「TREND-POINT」の最新版を、2025年秋リリース！

「3D Gaussian Splatting」^{※2}による高精細な点群表示などで、“魅せる”点群活用を提案！

建設業向けCADメーカーの福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役 COO：杉田 直）は、業界初となる3D表示技術を搭載した3D点群処理システム「TREND-POINT」の最新版を2025年秋にリリースいたします。

今回リリースする最新版では、革新的な3D技術「3D Gaussian Splatting」による表示対応に加え、点群と写真の重畳表示、さらに出来形ヒートマップをARデータとして出力する新機能を追加します。これにより、建設現場における計画や計測、記録業務の精度と効率性をさらに向上させるとともに、維持管理や災害記録、遺跡調査、文化財などのデジタルアーカイブといった、3D点群データを視覚的に活用できる新たな分野への提案を推進してまいります。

※1：国内公共工事用途の国産ソフトウェアで初。（自社調べ）

※2：3D空間に配置されたガウス分布を使ってシーンを表現し、それを2D画像として投影してレンダリングする新たな3D再現技術です。

【新機能のポイント】

1. 3D Gaussian Splatting による高精細な3D表現
細部表現に優れ、滑らかな3Dシーン的高速表示が可能な新しい技術を搭載。シミュレーションやデジタルアーカイブなどの新たな分野への活用が期待できます。

2. 点群と写真の重畳表示に対応
正確な座標を持つ点群と、視認性の高い写真画像を組み合わせた表示に対応し、維持管理、点検業務や計測、トレース作業を支援します。

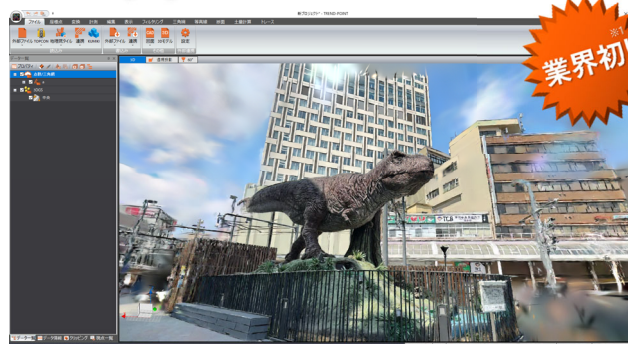
3. 出来形ヒートマップのAR出力に対応
令和7年度の3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）に記載されている「デジタル技術（AR等）を用いた出来形立会確認」で活用するAR出力に対応し、立会確認の効率化を支援します。

【リリース時期】

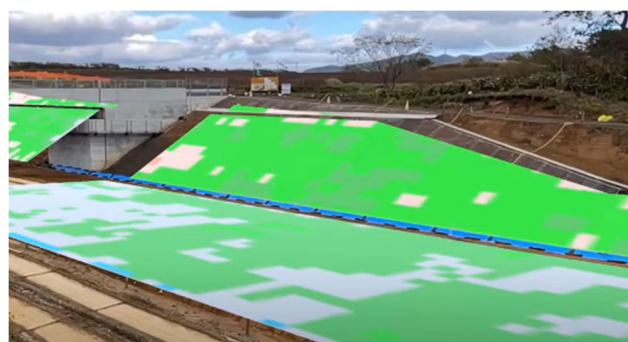
2025年秋頃を予定。

なお、各機能を実装する予定のプログラムや価格等につきましては、リリースが近づき次第、改めて詳細を発表いたします。

 TREND-POINT



●3D Gaussian Splatting での表示（画面は開発中のイメージです。）



●ヒートマップのAR投影イメージ（画面はARデバイスのキャプチャです。）

ハンドヘルドスキャナー製品と 3D 再構成ソリューション マルチ SLAM と 3DGS (3D Gaussian Splatting) に基づく 次世代 3D コンテンツ テクノロジー



Lixel L2 Pro

リクセル エル 2 プロ

相対精度 1.0cm (処理済)
スキャンレート 640000/秒
スキャン距離 300m/120m



LixelKity K1

リクセル キティ K1



座標付与・点群精度向上

現場測量・GCP 活用



自動追尾型
トータル
ステーション
iX-1505



GNSS 測量
GCX3



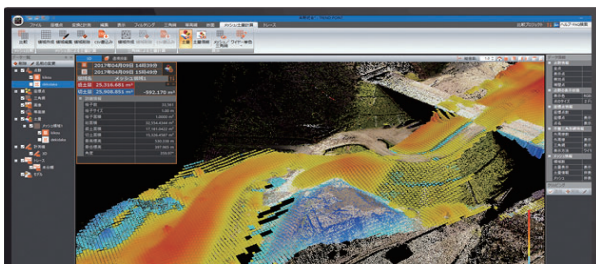
dji MATRICE 350 RTK

ドローン搭載飛行と地上スキャンを
2WAY で活用

3次元データ活用

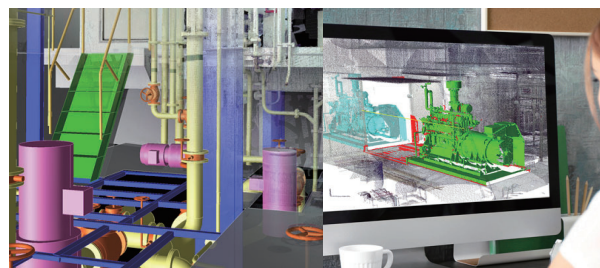
3D 点群処理システム

福井コンピュータ トレンドポイント



TREND-POINT

点群データを簡単・素早く・高精度に 3次元モデル化
アルモニコス クラスエヌケー ピアレス



ClassNK-PEERLESS



株式会社神戸清光



CSPI-EXPO 2025 国際建設・測量展

International Construction & Survey
Productivity Improvement EXPO

2025年6月18日(水)～21日(土)

幕張メッセ 展示ホール1～6・屋外展示場・屋外展示場ANNEX

小間番号08-51

最先端の3Dレーザー scannerを使った
3次元点群の活用法について神戸清光が
じっくり解説いたします!

詳細は裏面をご覧くださいませ